

# JCP OGAKI はんざわ REPORT

## 市民協働センター（市民参加の拠点）と、高尾山学園（不登校児支援学校）の視察報告



先日、大垣市議会教育福祉委員会にて東京都三鷹市、八王子市へ視察に行ってきました。

三鷹市で視察した「市民協働センター」は、住民の生活に深くかかわる、教育や福祉、まちづくりに関する長期計画を作る際の市民参加を促しています。ここでは、市の計画策定の早い段階から、市民委員が、計画等に関する活発な討議を行っています。市民委員は、無作為で選ばれています。「普通の市民」の意見を十分に取入れた計画にしようとする八王子市の心意気が伝わってきました。「市民協働センター」には、市からの運営委託料としての年間 900 万円の費用とは別に、指定管理料の 2300 万円の予算措置がなされ、さらに、コーディネーターとして、市の専門の職員が受託NPO法人に派遣されていました。

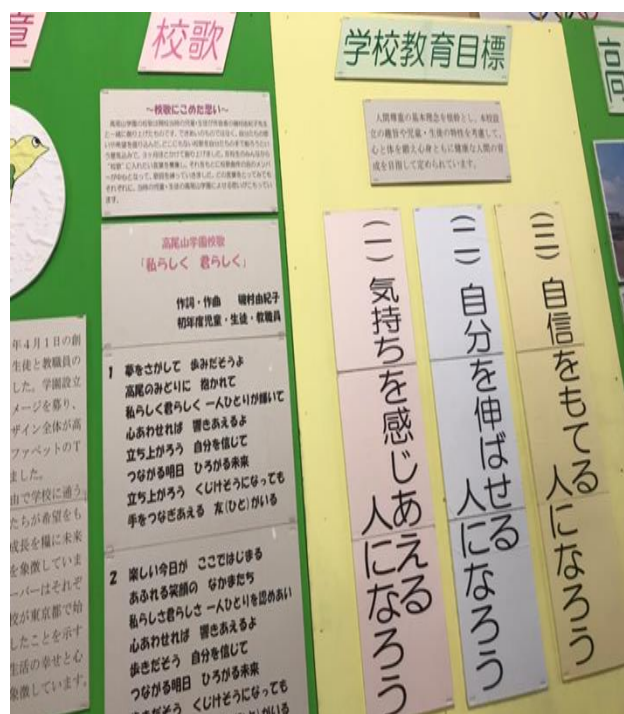
一方、大垣市では、たとえば、2020 年度の 4 月から始まる「第 3 次子育て支援計画」案が 11 月になっても市民に素案すら公開されていない現状は、9 月議会の一般質問で私が取り上げたところですが、「住民自治」や「民主主義」が機能するためにも、こうした三

鷹方式を導入することも一つの方法だと思いました。

つぎに、八王子市では、柔軟なカリキュラムで学校運営をする「八王子市立高尾山学園」の視察を行いました。

八王子市は、平成 13 年度に不登校児童・生徒の割合が国や東京都平均を上回った状況があったため、全国でもいち早く、不登校の子どもたちを受け入れる地域の学校（特例校）として機能していきます。この学校は、不登校の児童が通える場所として、工夫をこらしたカリキュラムのみならず、市中の不登校児童を支援する拠点として、地域連携や学校支援、子どもの支援と親の支援をも行うスクールソーシャルワーカーが 6 人在中しているということでした。来年度は 10 人に増やす予定とのことでした。

柔軟な学校運営の一例としては、この学校には「プレイルーム」が設置されており、生徒は授業中でも、いつでもそこに行くことができるようになっています。教師は、力で抑え込むのではなく、工夫を凝らし、



(学校玄関前の掲示)



(プレイルームの様子)

「プレイルームより楽しい授業」を展開することが要求されます。そして、子どもたち自身が授業を受けるか否かも「選択」していく力をつけさせることを目標にしています。

最近では、授業中に、プレイルームに行く児童・生徒さんは少なくなっているそうです。児童と先生が育ち合っている教育現場だと校長先生のお話をお聞きして感じました。実は、こうした特例校を設置することが、岐阜市ではすでに決まっているそうです。

さて、大垣市はどうするのか。どの子にも、教育を受ける権利が保障される場所が整っているのか、喫緊の課題として行動していきたいと思います。

(はんざわ多美)

## はんざわ多美のこの一冊！

是枝裕和著『こんな雨の日に 映画「真実」をめぐるいくつかのこと』文藝春秋、2019年

大ヒットした「万引き家族」では、現代日本の家族のあり方を考えさせられました。その是枝裕和さんがメガホンをとった映画「真実」の撮影にまつわるお話です(コロナ大垣にて上映中)。映画は、フランスの大女優(カトリーヌ・ドヌーブ)が演じる年老いた母と娘の、おしゃれで心温まるストーリー。

愛知トリエンナーレ問題でも話題になった「表現の自由」をめぐり、「権力と距離を取る」是枝監督の姿勢には感銘をうけます。この本の中では、脚本の作られ方や役者やスタッフとのやり取りなどから監督の人柄や仕事ぶりがうかがえます。「働く」ということや「女性の生き方」「家族」についても考えさせられます。美しい秋を感じながらの読書、そして映画とあわせておすすめです。

(はんざわ多美、随時掲載)

## 出前市政報告を実施 します！

「議員は何をやっているかわからない」では、市民と市政の距離は遠くなってしまいます。市民の皆さんが市政を身近に感じることができる場を作っていきたいと思っています。少人数でも、「出前市政報告会」を実施させていただきますので、日本共産党大垣市議団にご連絡ください。

### 【訂正とお詫び】

市政報告第49号において、大垣市の回答の中で「路線バスの現状」として、「赤字分の報告(1億2000万円)を国に出している」という部分は、1億4560万8千円の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

発行者：日本共産党大垣市議団  
発行日：2019年11月10日(第50号)  
連絡先：大垣市室本町5-8  
TEL (0584) 78-6865  
FAX (0584) 73-8572

はんざわ多美  
教育福祉委員  
市民病院に関する委員  
E-mail hancyan\_tamicyan@yahoo.co.jp  
URL <https://hanzawatami.net>



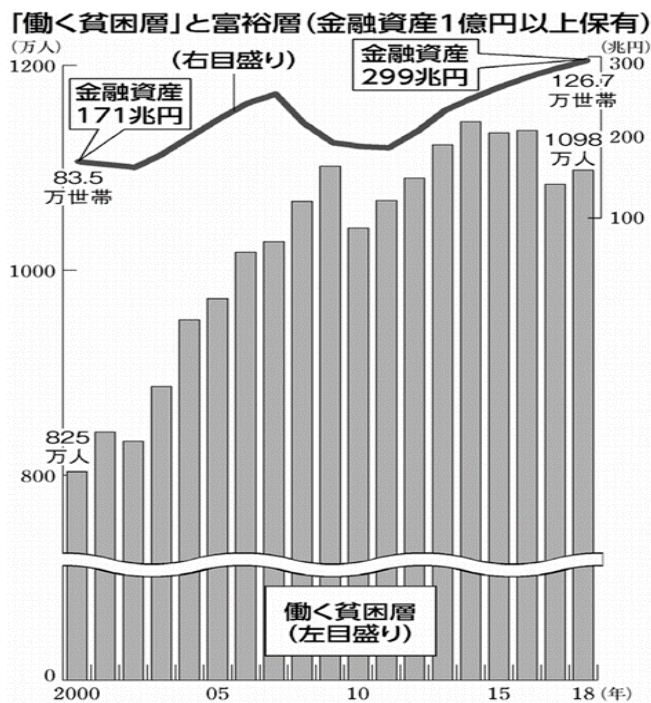


# JCP OGAKI としや REPORT

## 消費税5%減税の実施を！

10月に入り消費税が上がりましたが、市民からは「生活が苦しくなった」「何のための増税なのか」といった声が上がっています。

増税に伴い消費支出が落ち込むのは確実で、今こそ消費税5%への減税実施が求められます。



左のグラフは、日本共産党の大門実紀史議員の参院予算委員会で活用した資料で、株や証券などの金融資産を1億円以上もつ富裕層の世帯が保有する資産が2000年の171兆円から18年には299兆円に膨らむ一方、年収200万円以下の「働く貧困層」が13年連続で1000万人を超えている実態を示したものです。

大門議員は、世界経済が悪化するもとの、ドイツやフランス、アメリカなどの各国が庶民減税で消費を底上げしようとしていることを紹介。

「今や世界の流れは、むしろ庶民減税だ。日本だけ消費税増税して大丈夫か」「富裕層優遇である証券優遇税制や大企業優遇である研究開発減税制、これらを見直せば、消費税増税は必要ないし、減税にも道を開く」と指摘しています。

(しんぶん赤旗、2019年10月18日付)

1機で100億円ともいわれるF35戦闘機を100機以上といった「武器の爆買い」など間違った税金の使い方を止めることと大企業・富裕層への課税で、消費税の増税はやめることができます。(中田としや)

## 競輪場整備に35億円！？

私が所属する建設産業委員会では、今、大垣競輪場の再整備が議論されています。その主な内訳は、

- ① メインスタンド改修9億円
- ② バンク(コース)改修4億円
- ③ バックスタンド改築15億円
- ④ 東公園整備6億円

となっており、その財源基金と市債の活用で賄うと言われていています。市は今後10年間、競輪事業として120~30億の収入を見込み、6~7億円の黒字が出ると想定。黒字分から市会計への繰り出しは引き続き継続したいと考えているとのことでした。

この間、日本共産党大垣市議団として競輪事業に対しては「公営ギャンブルをすべきではない」と反対してきました。

今回の計画を老朽化が進む大垣競輪場の再整備事業と見て

- ① 当初構想よりも**2倍近い概算工事費**となっていること
- ② 今後ますます来場者減少が予想される中、収支見込は確保できる

かなど精査が必要です。

大垣市では、子育て支援拠点の充実や育休退園問題、あるいは、最近の頻発する大災害に対する備えなど、いのちや暮らしに直結する優先すべき課題も少なくありません。**私たちの税金がどのように使われているのか**、その動向に注目をしていく必要があります。(中田としや)

## よろず相談の現場から



80代ひとり暮らしの方からの相談で「引っ越したく入居できる物件を不動産屋に頼んだが、どこも断られ、市営住宅に入れなにか」というもの。不動産屋の話では、高齢の一人世帯は家主が嫌がるので、実際入居は難しいとのこと。

**市営住宅は年4回ある抽選**で当たれば入ることができるが、**2名の連帯保証人**が必要です。また、高齢者にとって階段の昇り降りは難しく、一階の部屋を求めてもいつも空いている保証はありません。

市営住宅の法的根拠になっている公営住宅法には「健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、国

民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする」とあります。現実には、高齢のひとり世帯や夫婦のみの世帯が市営住宅に入居できるようにするには、**階段のない一階の部屋の確保**が必要であり、また「**連帯保証人2名**」の条件を取っ払うことが必要です。

岐阜市は「連帯保証人」の要件を無くしたようです。大垣市も、住むところに困っている高齢者が入居できるように柔軟な対応が求められます。(笹田トヨ子)

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

**しんぶん 赤旗**

日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円

## 西濃生活と健康を守る会準備会の結成に向けて

去る10月5日(土)、スイトピアセンターで開催された生存権アクションぎふの第5回総会の終了後西濃エリアでの「生活と健康を守る会」の準備会の結成に向けて笹田トヨ子元市議が中心となり、結成の呼びかけが行われました。

「生活と健康を守る会」は生活保護や貧困問題に取り組む組織です。事務所を中田としや生活相談所と同じ場所に置くことが決まりました。

今後、大垣市を中心とする西濃エリアでの生活の困りごと相談の強い味方となってくれると思います。

発行者：日本共産党大垣市議団  
発行日：2019年11月10日(第50号)  
連絡先：大垣市室本町5-8  
TEL (0584) 78-6865  
FAX (0584) 73-8572

中田としや  
建設産業委員  
大垣市議会日本共産党会派幹事長  
E-mail nakatatoshiya015@gmail.com  
URL <http://nakata-toshiya.com>

